



福島子どもの 未来を考える会

7月31日出発

ベラルーシ派遣45人決定

郡山市的一般社団法人「福島子どもの未来を考える会」が今夏、ベラルーシに派遣する中学・高校生四十五人が決まった。十四日、初顔合わせとなる参加者説明会を市中央公民館で開いた。同国は昭和六十一年に起きたチエルノブイリ原発事故の被害を受けており、今年は事故から三十年目。生徒たちは派遣の経験を福島の復興に生かそうと誓っていた。

派遣団は長尾トモ子一成する。長尾理事長ら理事長を団長、滝田良子副理事長、天野和彦理事を副団長として構成する。七月三十一日に郡山

市を出発し、ミンスクのキャンプ施設に宿泊、文化活動やスポーツを通じた交流活動を行う。チエルノブイリ原発事故後の復興状況について学ぶ。八月十日に帰国する予定。

説明会で長尾理事長があいさつし、生徒一人一人が自己紹介した。ふたば未来学園高

一年の遠藤暁さん(五)は「現地でしか得られない情報を積極的に学ぶ」、本宮二中二年の三浦美咲さん(四)は「五感全てを使って文化や自然を体験したい」と話した。

「福島子どもの未来

を考える会」のベラルーシ派遣は平成二十四年から毎年行っており、五回目。

ベラルーシ 派遣の生徒

△高校Ⅱ高野真有(福島)
橋本萌笑(福島南)但木琴
恵(桜の聖母学院)新井田
幸(大沼)菊地美結(会津
学鳳)石黒礼、灘山凜(安
野花)遠藤暁、上遠野成純、

積)鈴木優斗、笛山凌雅(安
積御館)星拓(安積黎明)
武藤美石(郡山女子大付)
長沼桃佳(尚志)古賀千晶、
柏葉侑加(長谷川蒼)日大
たば未来学園)

△中学Ⅱ佐藤蓮(信夫)
金子正斗(会津学鳳)永福
光也(郡山二)石田あみ(郡
山三)佐々木楓花、佐藤未
友香(天栄)